

第31回 我孫子市放射能対策会議 会議概要

【場 所】 市長応接室

【日 時】 平成24年12月19日（水）9:30～10:00

【出席者】 市長、副市長、水道局長、総務部長、企画財政部長、市民生活部長、健康福祉部長、子ども部長、環境経済部長、環境経済部参与、都市部長、建設部長、教育委員会総務部長、消防長、広報室長、施設管理課長、健康づくり支援課長、子ども支援課長、保育課長、クリーンセンター長、商工観光課長、手賀沼課長、農政課長、道路課長、下水道課長、公園緑地課長、水道局工務課長、教育委員会総務課長、学校教育課長、文化スポーツ課長、放射能対策室長

（報告事項）

（1）放射線量測定結果及び放射能に関する対応について

（公園緑地課）

- ・ 公園の測定を12月に行った。全体的な放射線量の傾向としては下がりつつある。除染工事を行っている関係で、測定が出来ない公園が5つあった。

（放射能対策室）

- ・ 住民の要望を受け、これまで保育園・小中学校・その他公共施設で室内の測定を行ってきたが、保育園・小中学校等の除染が終わったこともあり、年内で室内の測定を止める方向で考えている。保育園・小中学校の保護者の反応を確認した上で、次回1月の放射能対策会議で室内の測定を止めるか、継続するかを決定する。

（2）私立高校・大学の除染について

（放射能対策室）

- ・ 川村学園女子大学・中央学院大学・我孫子二階堂高校の除染を実施する予定で、測定値の低い中央学院高校の除染は行わない。費用については国費で賄い、賄えないものはやらない方向で各学校と調整している。
- ・ 除染の内容については、芝の削り取り等を行う。原状回復は各学校でやっていただく方向で調整している。
- ・ 今後のスケジュールとしては、除染を行わない中央学院高校を含む4校の詳細測定を来年の2月～3月頃、測量を4月～5月頃に行う。測量の結果をもって、設計を組み、夏休み中に除染工事を行う方針である。費用は2000万円ぐらいになると思われる。
- ・ 川村学園女子大学附属保育園脇のグラウンドについては、市が無償貸与を受けておりスポーツ少年団等が活用しているので、教育委員会が、子どもが多く利用する施設として除染を行う。

（文化スポーツ課）

- ・ 川村学園女子大学附属保育園脇のグラウンドの除染を行うにあたり、まずは現地の測

量を行うことになっている。サッカー場のような形にしている部分とその周辺を除染の対象箇所とすることで調整している。

(その他)

(放射能対策室)

- ・ 市内5会場で行った市政ふれあい懇談会で放射能に関する意見を秘書広報課でとりまとめてもらったので、参考までに配布する。放射能問題に関する意見は減ってきているが、手賀沼終末処理場の問題に関する意見が各会場から出された。
- ・ 1月8日に環境省補助金について会計検査が行われる。対象は、平成22～24年度分であるが除染が中心となる。担当部署で資料作成等の準備をお願いしたい。